

横浜市青葉台コミュニティハウス 指定管理者事業計画書

申込年月日 令和 3年 6月 30日

団体名	公益社団法人 横浜市民施設協会		
代表者名	理事長 松澤 孝郎	設立年月日	平成22年 4月 7日
団体所在地	横浜市青葉区あざみ野2丁目9番地の22の302		
電話番号	045-482-9572	FAX番号	045-482-9573
沿革	<p>私達は、地区センター等の施設運営に関わってきた自治会・町内会の中心的メンバーが、発起人となって設立した社団法人です。</p> <p>地域に寄り添い、気軽に楽しんでいただける施設運営を通じ、地域のコミュニティの絆をさらに強いものにしていくため、なにより「心と心のふれあい」を大切にしています。</p> <p>掲げているスローガンは、「あつまる・つながる・笑顔になる」です。</p> <p>平成22年4月 「一般社団法人 青葉区区民利用施設協会」 設立</p> <p>指定管理者制度の導入を機に、「区民のための施設は地域の意思を尊重して運営したい」と、15の連合自治会と社会福祉協議会のメンバーが結集して設立しました。</p> <p>平成26年2月 「公益社団法人 横浜市民施設協会」 へ移行（名称変更）</p> <p>不特定多数の方々の便益の増進に貢献し、公益性の高い事業を継続するため、①文化芸術の振興 ②高齢者の福祉増進 ③児童青少年の健全育成 ④スポーツ等を通じた心身の健全な発達 ⑤地域社会の健全な発達 の5つの分野で公益認定を受けました。</p> <p>活動範囲を区内に限られることなく、市内で活躍する地域コミュニティ組織とも連携し、共に地域の支援・貢献を進めたいとの思いから「横浜市民」に名称変更を行いました。</p>		
業務内容	<p>地域との協働と区役所との連携を念頭に、公益認定を受けた5つの分野と当法人が掲げる次の7つの事業を相互に関係づけながら事業を展開しています。</p> <p>(1) 区民利用施設等の管理運営 (2) 文化・芸術・スポーツ等の講座やイベントなど自主事業の企画及び実施 (3) まちづくりの推進や青少年健全育成の推進 (4) 区民の自主的な活動の支援 (5) 地域活動推進に関する支援 (6) コミュニティハウス等での生涯学習支援 (7) 自治会・町内会等の事務的支援</p> <p>区民利用施設は、地域活動・地域交流、さらには地域防災の拠点としても、重要な役割を担っています。このため、理事長以下役職員は、施設の適切な管理運営はもとより、自治会・町内会をはじめとした地域の声を丁寧に生かした自主事業を行うため、日々研究し改善に努めています。</p> <p>また、地域が取組む独自の住民活動も地域コミュニティ醸成の重要な要素です。このため、地域活動への人的・経費的支援、事務支援等の役割も果たしています。</p>		
担当者連絡先	氏名	■■■■■■■■■■	所属 事務局
	電話	045-482-9572	FAX 045-482-9573
	E-mail	■■■■■■■■■■	

1 応募団体に関すること

ア 応募団体の経営方針、業務概要、主要業務、特色等について

■ 業務概要

- 1 青葉区の地区センターなど10施設の指定管理者として、適切な施設の管理運営と施設の利用促進による地域住民のふれあいを図ります。
- 2 音楽・絵画・工作教室など文化芸術の振興、青少年の健全育成などの事業を企画し、地区センターや区民文化センターなどの身近な施設での開催を通じて市民・区民の芸術文化の振興をすすめています。
- 3 学校コミュニティハウスの管理では、常に学校長と連携をとって、地域の集いや学習活動の一翼を担っています。
- 4 屋外イベントや少年サッカー・少年野球に利用するスポーツ公園の管理も行います。
- 5 自治会町内会の会議の支援などを始め、民生委員、青少年指導員など地域の青少年・高齢者などを支える団体と協力し、地域社会の健全な発展に向け事業を行っています。



■ 経営方針

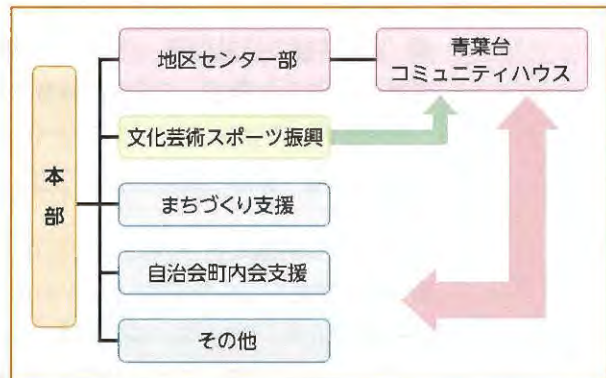
公益社団法人横浜市民施設協会は、地域で活動する団体および個人を社員として設立した団体です。

法人の事業目的の柱として、公共施設の管理運営、文化芸術の振興、自治会活動の支援、青少年の健全育成などを掲げ、快適な地域社会の健全な発達に寄与することを経営理念としています。

地域の抱える様々な課題に積極的に寄り添い、社会的信用を維持・向上するため、日々、工夫と改善を重ね、活動しています。

イ 応募団体の業務における青葉台コミュニティハウス指定管理業務の位置づけ

青葉区屈指のターミナル駅、青葉台駅より徒歩圏内にある青葉台コミュニティハウスは、区内唯一の青少年図書館転換型施設です。来館者数は青葉区内コミュニティハウス7館の合計の約半分を占め、地区センターに匹敵する、地域に根付いた施設であるとともに、区内東西の管理運営施設をつなぐ拠点としても、欠くことのできない施設となっています。また、「本の家」というサブ館名が付いているように、図書館機能を兼ね備え、本市重要施策である読書活動推進の中心拠点として、当協会においても管理運営施設全体の感書充実を図り、図書管理業務を推進する役割を担う重要な施設です。



ウ 応募団体が行った公の施設その他類似施設の管理運営に関する主な実績

当法人は、横浜市青葉区の下表17施設、合計で年間100万人を超える方々（平成30年度実績）にご利用いただいています。

管理運営している施設名	業務開始年月	業務区分
地区センター 4館 山内、若草台、美しが丘西、奈良	平成 7年 4月 他	指定管理
単館型コミュニティハウス 3館 青葉台、荏田西、荏田	平成11年 5月 他	指定管理
美しが丘公園こどもログハウス	平成 5年 4月	指定管理
新石川スポーツ会館*1	平成 7年 4月	指定管理
青葉区民文化センター（フィリアホール）	平成25年 4月	共同指定管理
学校併設型コミュニティハウス 6館 鴨志田、さつきが丘、山内、桂台、すすき野、みたけ台	平成 7年 4月	委託
青葉スポーツプラザ*2	平成26年12月	委託

*1 テニス、バドミントン、卓球等のスポーツができる施設

*2 少年野球、少年サッカー、ソフトボール等のスポーツができる屋外施設

2 青葉台コミュニティハウス管理運営業務の基本方針について

ア 設置目的、区政運営上の位置付け



青葉区運営方針 基本目標 「住みつけたい・住みたいまち」青葉の実現…人と地域のつながりづくりの推進
地域特性を理解し、青葉区の高齢者、障がい者、子育て、地域課題解決、地域活性化対策等の様々な地域戦略の一端を担える役割を積極的に果たします。

イ 青葉台コミュニティハウスを取り巻く地域特性、地域ニーズ

地域特性

- 青葉台駅周辺の商業施設に続く施設であり、自治会や商工会など地域団体のイベントも多く行われています。
- 共働き家庭の増加、多くの子育て世代を抱えており、一方で高齢者の増加とともに、高齢者施設も多く、親子3代での利用者も増えてきています。教育熱心で、学生はもとより、成人の資格取得のためなど学習意欲も高い地域です。
- 転出入も多く、自治会や近隣の施設の情報を把握しきれていない住民も多くなってきています。

地域ニーズ

- 自治会や地域団体の活動が活発で、自治会等優先利用は約1割を占め、なくてはならない施設です。
- 子育て支援の場を求める声も多く、介護や福祉に対する情報も必要になってきています。
- 誰でもが参加しやすい文化的イベントが求められています。
- 文化や知識への興味も高く、図書に対するニーズもますます高くなり、市立図書の取次サービスの利用もさらに伸びています。
- 健康に対する意識も高く、体を動かす場を求めています。

運営への反映

ウ 公の施設としての管理・個人情報保護等法令遵守体制について

■ 施設管理及び法令遵守の基本的対応

横浜市地区センター条例に基づき、地域の方々が気軽に気持ちよく、安全・安心に施設を利用していただけるよう、公平・公正で満足度の高いサービスを提供していきます。笑顔で明るく丁寧な対応に加えて、コンプライアンス・人権の尊重に努め、地域ニーズに的確に対応した良質なサービスや事業を進めていきます。

個人情報保護等法令遵守の取組については、横浜市民施設協会として「倫理規程」「個人情報保護規程」「公益通報者保護規程」「コンプライアンス規程」等を定め、法令の遵守及び不正行為の未然防止・早期発見と是正に努めています。

■ 個人情報保護の体制及び取組

個人情報の保護に関する法律等に基づき、横浜市民施設協会が「個人情報保護規程」を制定するとともに、法人として個人情報の適切な管理運用を行うため、事務局長を「個人情報保護総括責任者」とし、各施設の館長を「個人情報保護運営責任者」に任命しています。具体的な事例に基づく検討や話し合いを通じて、個人情報保護の重要性についての意識を高めるとともに、「青葉台コミュニティハウス個人情報保護マニュアル」により、個人情報の適正な取扱の徹底を図っています。

また、「個人情報取扱特記事項」第12条1項に基づき、「横浜市個人情報に関する条例」等の内容を十分理解できるよう、全職員を対象に、個人情報保護に関する研修を毎年必修で行っています。

3 組織体制

ア 管理運営に必要な組織、人員体制

■ 職員の人員体制、業務内容及び求める能力

責任者として、館長1名・常勤職員2名チーフスタッフ1名でローテーション勤務を行い、さらに図書室などの受付業務をスタッフが支えていくことで、利用者の様々な要望・苦情や多様な自主事業の展開等に的確に応えることができる体制とします。月末日は施設の清掃・点検のため休館としていますが、この機会を利用して普段一堂に会することが難しい全職員によるミーティングを開催し、情報の共有、スケジュールの確認、研修等を行います。

職 種	人	業務内容
館 長 (常勤)	1	運営管理の総括責任者、地元・関係機関との調整、人材育成、日常業務
職 員 (常勤)	2	館長補助、庶務・経理・自主事業、人材育成、日常業務
チーフスタッフ (時給職員)	1	館長補助、庶務、自主事業、図書管理、日常業務
コミュニティスタッフ (時給職員)	10	窓口対応、施設の点検等日常業務、自主事業の補助、図書貸出等
クリーンスタッフ (時給職)	2	館内の清掃、施設の点検

■ 勤務体制

館長・常勤職員はチーフスタッフとともに、事務室勤務のローテーションに入ります。コミュニティスタッフは隔週ローテーションで、午前・午後は各2名、夜間は各1名の体制で勤務します。クリーンスタッフも隔週勤務で1名勤務です。

	午前 (8時45分～12時55分)	午後 (12時50分～17時)	夜間 (16時55分～21時05分)
平日 (月～土曜日)	館長、常勤職員、チーフスタッフ (早番1名 遅番1名)		
	午前 スタッフ2名 クリーンスタッフ1名	午後 スタッフ2名	夜間 スタッフ1名
日・祝日	館長、常勤職員、チーフスタッフ (1名～2名)		
	午前 スタッフ2名 クリーンスタッフ1名	午後 スタッフ2名	

■ 青葉台コミュニティハウスに相応しい人員体制の理由

増加する利用者数・多様化する利用者ニーズに対応し地域や利用者との信頼関係を構築する

- ・青葉台コミュニティハウスは、「本の家」としての図書業務は3階、部屋の貸出業務は2階で、スタッフと事務室勤務者が補いながら利用者ニーズへ対応し、その上で館全体の管理を常勤職員が行います。これは、サービスの提供、安全性の確保を考慮し無駄を省いた最大限の効果を発揮できる体制です。更に利用者本位の接遇を心がけ、利用者の協力を得ながら、引き続き現体制で業務を遂行します。
- ・今後ますます増大かつ多様化する利用者ニーズへの的確な対応、より良いサービスの提供、利用者の安全性の確保等を考慮し、無駄を省いた最大限の効果を発揮できる体制としました。
- ・独自の図書システムによる待ち時間の少ないお客様対応や、部屋予約のシステム化により、人材の効率化、省力化を図り、さらなるサービスの向上に努めます。
- ・地域の会議、行事、イベントに職員が参加するなど、積極的に地域へ出向き、地域との信頼関係を構築していきます。

■ 協会本部による万全な支援

- ・当協会が管理運営している様々な施設のノウハウを結集して、どの施設にも共通した質の高いサービスを提供します。
- ・人事異動により、それぞれの職員が持つ知識や技術を相互に活用し、利用者満足度の向上や職員資質の向上に努めます。

3 組織体制

イ 職員研修計画

■ 職員育成の基本的な考え方

- 1 青葉台コミュニティハウスを、誰もが、気軽に気持ち良く利用していただくと同時に、引き続き利用したいと思っていただけるような公平・公正で良質のサービスを提供することが施設運営の基本と考えています。そのためには、すべての職員が、「利用者に好感を持っていただける接遇」と「施設運営にあたっての基礎的な業務知識と技能」を有することが不可欠です。

様々な機会を捉えて、計画的に研修を実施し、施設内で迅速かつ確実に共有できるよう取り組んでいきます。

- 2 青葉区区政運営方針も基本目標「住みつづけたい・住みたいまち 青葉の実現」に向け「人と地域のつながりづくりの推進」に取り組み地域活動の活性化を図ることがあげられています。市民ニーズが多様化、複雑化する中で、コミュニティハウスが地域の活動拠点として「地域のコミュニティづくり支援」といった役割を担っていくためには、設置目的を正しく理解し実践していくことが益々重要になります。施設協会として、研修や自己啓発の環境を整備し、職員の育成に取り組んでいきます。

■ 職員研修計画の内容

1 職場内教育 (OJT)

- (1) 接遇研修 (年1回) ……外部講師を招き接客の実践的スキルを磨く
- (2) 接遇研修 (毎月) ……法人独自の「接遇ハンドブック」を反復習得
- (3) 人権啓発研修 (年1回) ……市職員などを講師に招き、事例検討を交えて実施
- (4) 個人情報保護研修 (年1回) ……事例検討と討議により実践的に学習
- (5) AED取扱研修、防災研修 (年2回) ……消防職員や専門業者を講師として実施
- (6) 避難訓練 (年2回)
- (7) 防犯研修 (随時)
- (8) 図書研修 (随時)
- (9) 地域コーディネーターの養成研修
- (10) 独自研修



防犯研修

2 職場外教育 (OFF-JT)

- (1) 新入職員教育 (採用時) ……接遇研修、職務基礎教育等
- (2) 管理者教育 (年1回) ……管理者の知識・マネジメント研修等
- (3) 職務研修 (年1回) ……労務・経理研修、企画研修等
- (4) 安全衛生教育 (年1回) ……衛生管理者を中心に計画的に実施
- (5) 他施設見学 (随時)
- (6) 図書の選定・展示方法の研修……山内図書館等の協力により実施
- (7) 認知症サポーター研修……職員全員が必須受講
- (8) 地域コーディネーター養成研修……職場内研修にフィードバック



採用時接遇研修

3 自己啓発助成 (随時)

資格取得、通信教育、セミナー参加等、自己啓発に対する費用を助成

※自己啓発研修にかかる費用の助成 (令和2年度実績)

簿記2級 (1名)、衛生管理者 (1名)、メンタルヘルスマネジメントⅡ種 (3名)、公益法人会計検定試験3級 (2名)

4 その他

職員個々の知識・技能を把握し、職員が自主事業の講師を務めたり、自主事業の企画に生かしたりして、人材育成を図ります。

3 組織体制

ウ 緊急時の体制と対応計画

■ 青葉区防災計画上の位置づけ

- ・当館は、青葉区防災計画上の位置づけは特にされていませんが、大規模災害時に地域の皆さまや帰宅困難者が一時的に立ち寄ることも考えられます。**区役所と連携**しながら求められる役割を担うと同時に、飲料水やトイレの利用など、利用可能なサービスを積極的に提供します。連合町内会長が理事・社員になっている当法人の特性から、**地域の主体的な活動**も活かしていきます。
- ・近隣の地域防災拠点としては、「青葉台中学校」「青葉台小学校」「榎が丘小学校」等が指定されています。

■ 地域と連携した防災への取組 ～ 共助活動の支援拠点として

- ①いざという時に有効に機能が果たせるよう、地域の防災訓練に積極的に参加・協力していきます。
- ②自動販売機は、災害時の停電中でも無料で取り出すことが可能な機能を備えたものを引き続き設置します。

■ 緊急時（災害、事故、事件、故障）の対応計画

事故の未然防止や発災時に迅速で適切な対応を取るためには、日頃の備えとしての日常点検や必要なマニュアルの整備、またスタッフミーティング時での確認、さらには関係機関を交えた訓練を重ねることが重要です。「いざ」という時に職員一人ひとりが迅速・適切に対応できるよう、以下の取り組みを行います。

1 「緊急時連絡網」の整備

緊急時に、館と法人事務局をはじめ青葉区・警察・消防等関係機関を含めた連絡が取れるよう、緊急連絡リスト及び対処方法を図示した資料を作成し、事務室内に掲示するほか、各人が携帯しています。毎月の職員ミーティング時に全職員で内容を確認しています。

2 「緊急時対応マニュアル」の整備

緊急時は、まず「利用者」、次に「職員」の安全確保、さらに近隣の安全を考慮するという方針のもと、下の**緊急時の対応フロー図内**、「**危機管理対策の基本方針**」の項目毎に各施設で施設に応じた緊急時対応マニュアルや消防計画を作成しています。毎月の職員ミーティング時に全職員で内容を確認しています。

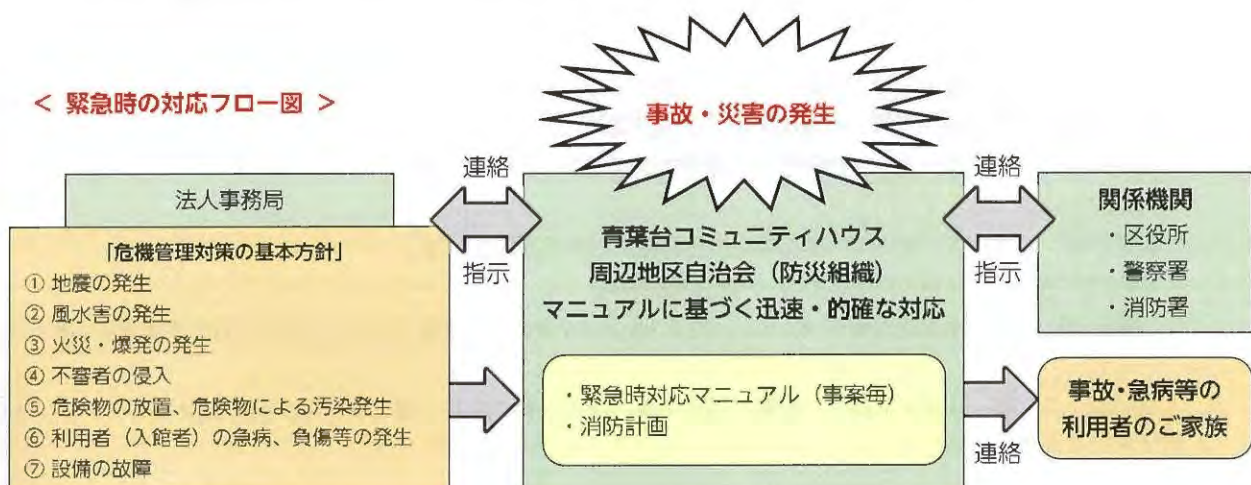
3 迅速な報告・相談

- ・施設内での事故や急病人が発生した場合は、直ちに館から「事故連絡票」を使用して法人事務局に報告します。必要な対応は、館と法人事務局で相談の上、青葉区と協議します。
- ・館の利用に重大な影響が予想される事故等が発生した場合は、区との協議と並行して、利用者へのお知らせをするとともに、協会理事長や施設委員会の代表者に連絡をとり、今後の地域への対応について相談します。

4 予防策

- ・発災時の消火訓練・通報訓練・避難訓練等、緊急時を想定した訓練を来館者も交え実施します。（かながわシェイクアウト運動への参加）
- ・運営実績の中で積み上げてきた「事故事例集」を職場研修等で活用し、日常的にはカメラによる監視や館内外の見回りを適時実施することにより事故の未然防止に努めます。

< 緊急時の対応フロー図 >



4 施設の運営計画

ア 設置理念を実現する運営内容

「地域住民が自主的に活動し、相互交流を深める場」であるという条例の趣旨に沿い、「あつまる・つながる・笑顔になる」施設運営を進めます。そして、青葉区区政運営方針にある「人と地域のつながりづくり」に向け、地域の活動団体等との連携により「地域コミュニティの醸成」、「地域の連携強化」に貢献できる、有意義で身近な場づくりを目指します。

新型コロナウイルス禍のもと、これまで培ってきた実績に加え、大胆かつ新鮮な発想を生かして、新しい時代の「新しい生活様式」に即した施設運営を行なっていきます。

〈誰もがいつでも楽しく利用できる施設〉

①世代を超えた地域の仲間作り

子育て、健康づくり、学習、趣味づくりの場として、また、サークル同士の交流や世代を超えた仲間づくりの輪を広げる取り組みを進めます。

②地域活動の支援

自治会や地域団体、サークル等の催しや会合など、地域の様々な活動を支援します。

〈地域に根ざし、利用者に親しまれる施設〉

①地域の自治体や団体との連携

自治会や地域の各種団体の催しや会合等、地域の様々な活動を支援します。

②地域の教育機関との連携

青葉6大学講師による自主事業の展開、近隣中学校、小学校、PTAと協力することで、青少年の育成に貢献します。

③関連施設との連携

子育て支援施設や地域ケアプラザとの連携により、子育て世代への支援や、高齢者のサポート(情報提供など)を行います。

〈清潔で明るく、快適な雰囲気のある施設〉

①安全と清潔へ配慮

常時、施設点検に努め、研修等によりスタッフや職員の安全対策へのスキルアップを図ります。また、サポーターとの協力により植栽美化活動を進めます。

②利用しやすい環境の整備

同指定管理施設を網羅したHPを整え、Webアクセシビリティに取り組んでいきます。Wi-fiの導入によって、インターネット環境を整えます。

図書機能を充実したコミュニティハウス

①地域の図書館の役割

独自の図書システムを使い、2万8千冊の蔵書を活かした地域の図書館として読書活動を推進していきます。

②学習の場の提供

地域の青少年のみならず、成人後もなお高い学習意欲を満たすことができるよう、場所の提供や環境を整えていきます。

イ 利用促進策

■読書推進のための取り組み

- 1 青葉台コミュニティハウス独自の図書システムを生かした貸し出しを行います。
 - ・ベストセラー、近隣学校の課題など予約数が多い場合の複本貸し出しが可能で、複本管理で予約順に貸し出すことができる独自の貸し出しシステムを用い、少ない待ち時間でお手元に本を届けます。
 - ・新刊本は、先行予約による随時貸出にすることで、貸出をスムーズにしていきます。
 - ・ホームページにも当館独自の「図書情報」ページを設け、さらに図書の情報をわかり易く届けます。
- 2 選びやすく、わかりやすい配架に取り組み、新着本や来館者・スタッフによるおすすめ本の紹介コーナーや各種イベントを展開し、読書意識の向上につなげていきます。区政30周年では「青葉区関連図書、青葉区在住作家の図書紹介」やイベントをも行います。
- 3 2万8千冊の蔵書を生かし、さらに関係する図書の紹介や購入により魅力的な自主事業に取り組みます。図書修理に協力してもらっているサポーターと、青葉台商工会などとのつながりを生かした「ブックカフェ」を開催し、毎回違う作家について語り合う場所を提供します。

■空き室利用の促進・学習室の活用

当館の稼働率は、ほぼ70%を維持していますが、さらに空いている時間帯を、臨時学習室として開放するなど、利用者にとっての利便性の向上に努めます。図書室利用者の読書サークル化、夜間を利用した自主事業のサークル化などを推進します。また、学習室に、過去問題集などを置き、受験生のサポートも行っています。

■利用促進 PR の充実・情報の発信

- ・自主事業チラシなどの関係自治会での回覧、近隣の学校との協力でのPRなどを進めます。
- ・転入者や新入生の多い4月や10月には利用案内を積極的に手渡しし、地域デビューのお手伝いをします。
- ・新着本や自主事業を案内するコミュニティだよりを毎月発行する他、地域の高齢化社会に対する介護や防災のお知らせや、子育て世代への支援情報は、近隣施設と連携し「子育てカレンダー」などにより発信していきます。

■地域のつながりづくりをサポートする事業の展開

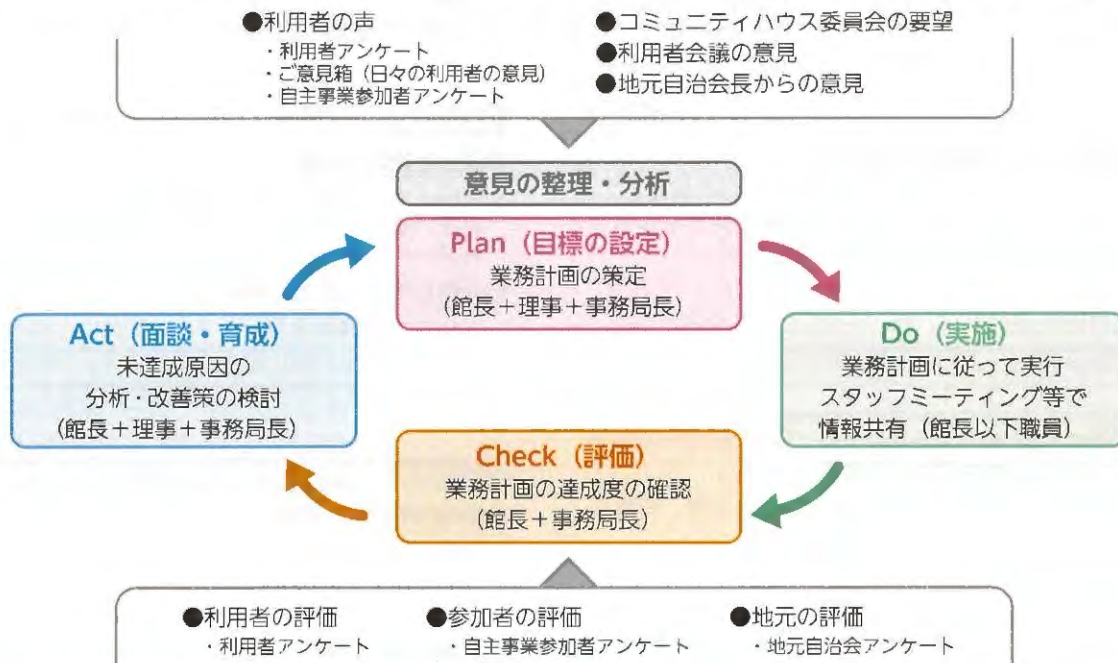
- ・気軽に参加できる無料のコンサートや、共働き家庭など土日の父子での来館に配慮する「お父さんいっしょ」、健康づくりのためのヨガなどニーズに沿った自主事業を企画します。

4 施設の運営計画

ウ 利用者等ニーズの把握と運営への反映

PDCAサイクルを意識した施設運営

コミュニティハウス委員会や利用者会議、利用者の声、地元自治会長からの意見を反映した施設運営を行っていきます。



エ 利用者サービス向上の取組

■ 利便性を整えた図書貸出

- ・視覚障がい者を始め誰もがアクセスしやすい「ウェブアクセシビリティ基準」に適合したホームページでは、誰も情報や機能を使いこなせるような仕様を目指します。HP内「図書案内」の情報も、館内の掲示とともに充実させていきます。更に、予約本の通知メッセージや、閉館時にも対応できる返却ポストの設置で利便性を高めます。
- ・図書室では、ターゲット別、テーマ別などのフェアを組み、読書意欲を駆り立てるような掲示の展開を行います。これまでのおすすめ本のチラシのみならず、テーマ別福袋、子ども用には学年別福袋のようなおすすめ図書を用意するなど、選書のお手伝いにも積極的に取り組みます。
- ・市立図書館の取次サービスは、H22年開始時より増え続けています。市立図書利用者にも、さらに魅力ある青葉台コミュニティハウスのアピールに努め、相乗効果としての利用促進につなげていきます。

■ 部屋利用申込方法のIT化

- ・HP上の部屋の「空き室状況」からは、利用団体の確認ができ、個々のサークルの活動日程を各自が把握しやすくなります。来館者による毎月翌月分の部屋抽選会は、FAXやメールでの希望日提出による抽選としていきます。抽選会への来館や待ち時間を無くし、さらには、ネットでの抽選を可能にしていきます。今後もより良い見直しを図りながら、団体の活動を応援していきます。

■ 地域のコンシェルジュとして

- ・近隣に、「青葉台ケアプラザ」「あおば地域活動ホームすてっぷ」「青葉区地域子育て支援拠点ラフル」などの施設があり、小中学校などをはじめ、商店街や、地域のイベントもたくさん行われています。来館者の皆様に各施設や、地元商店会とのコラボなどの情報提供を行えるよう、スタッフ自らが地域を学び、地域のコンシェルジュとしての研修に取り組み、スキルを高めます。

■ 新型コロナウイルス感染症収束後の取組

- ・新型コロナウイルス感染症が収束したのち、社会の動きに合わせたテーマや開催形態を工夫した自主事業を実施していきます。専門性や、スキルの学びとして、パソコンやタブレット講座など幅広く展開します。
- ・HPでは、イベントの動画配信など、次回の来館につながるPRを行っていきます。

4 施設の運営計画

オ 本市重要施策に対する取組

■ 読書活動の推進

- ・市の条例及び青葉区民読書活動推進計画に基づく、読書活動の場づくりなど環境整備に努め、多世代の読書習慣が深まるための自主活動を支援します。市立図書館の貸出・返却への取次、「おはなし会」などの自主事業の実施をはじめ、利用者や職員、サポーターによる「おすすめ本」や「特集イベント」として広く図書を紹介するなど、「本の家」として地域の読書活動を支える拠点となるよう努めます。

■ 障がい者支援・人権尊重の取組

- ・人権尊重は接遇のイロハとの考えに基づいて、接遇研修、認知症サポーター研修などにより、職員・スタッフの人権感覚を磨きます。
- ・やさしい「こころづかい」の受付対応への取組として、ユニバーサルマナー検定受講者による職場研修を実施します。
- ・視覚障がい者を始め誰もがアクセスしやすい「ウェブアクセシビリティ基準」に適合したホームページを作成します。
- ・近隣のケアプラザとのコラボ事業や連携により、地域生活への支援をしていきます。

■ 「健康横浜21」の取組

- ・ピンクリボン運動の取組～乳がん予防運動のパネル展示
- ・様々な健康づくり教室の開催（ヨガ、エアロビクス、ピラティスなど）
- ・当法人共同企画・あおば歴史探訪等）健康ウォーキング運動の取組 ～
- ・青葉台地区町ぐるみ健康づくり教室「ハッスル青葉台」、青葉台社会福祉協議会の高齢者健康づくりの「ふれあい広場」などへの会場提供
- ・「よこはま健康スタンプラリー」への事業の参加

■ 子育て支援の取組

- ・市の子育て家庭応援事業「ハマハグ」に登録、ホッとスポットとして紹介し、子育てを応援します。
- ・お話の部屋、たなばた祭り、ハロウィンなど親子で参加できる事業の開催
- ・青葉地域ケアプラザや、福祉保健センター等との協力により「子育てカレンダー」の発行

■ 青葉区内大学や学校との連携

- ・「青葉6大学」連携事業としての自主事業や、学生がボランティアで参加できるような環境を整えていきます。
- ・小学生の施設見学や、中学生の職業体験（近隣4校）など、積極的に学校活動の支援を行います。

■ 情報公開の取組

- ・ホームページで委員会や利用者会議の議事概要、ご意見箱の声に対する回答などを公表しています。また、議事録や事業計画・事業報告など館に備付け、常に最新情報を閲覧できるようにしています。

■ 文化振興の取組

- ・伝統文化や伝統行事を、イベントなどで紹介、発表の場を提供していきます。（下恩田囃子保存会、南京玉すだれ）

■ 「ガーデンネックレス横浜」への取組

- ・特に園芸に関心の深いサポーターの方々の協力により、プランターや花壇などに、季節に応じた花を育て、緑に親しむ施設作りをします。

■ 環境への配慮

- ・マイボトルスポットとしての取り組みとして、1階と3階のウォータークーラーで冷水を提供します。
- ・インクカートリッジの回収を実施します。

■ 地域経済の活性化

- ・修繕などの発注や物品・役務の調達にあたっては、地域振興の観点からも、地元を中心とした市内中小企業への優先発注に努めていきます。

5 自主事業計画

■ 自主事業の基本的な考え方

自主事業とは、興味がわくものでなければ自主事業ではない、「やってみよう」「参加してみよう」「聞いてみたい」と思わせる事業を提案し提供していくことと考えます。青葉台コミュニティハウス本の家では、以前青少年図書館であったという経緯とアクセスのよい地理的条件を踏まえ、地域住民のみなさんのニーズを的確にとらえた事業を、提案展開していきます。

■ 独自の取り組み

① 「本の家」の特性を活かした事業

当館は以前「青少年図書館」だった経緯があり、現在も「本の家」として地域に根付いており、**2万8千冊の蔵書**を生かした事業を展開しています。

「青葉台」ならではの事業

「おはなしの部屋」「七夕のおたのしみ会」「あおば寄席」など、長年続いている講座を継続していきます。又子育てに熱心な地域性から季節の折の自主事業には必ず読み聞かせを行い本の紹介を行います。



「本の家」ならではの事業

事業と図書のコラボレーションを図り、地域の読書活動の推進を高めていきます。又ブックカフェを定期的に開催し、お客様同士の本の意見交換の場所又憩いの場所を作っていきたいと考えます。

② 協会運営複数施設のメリット (複数館共同事業)

区内の複数館を管理運営している当協会ならではのメリットを活かし、当協会運営の複数施設の利用サークルの紹介・メンバー募集の紹介又、ホームページより各施設自主事業講座のジャンル別検索を可能にします。区内の各施設を拠点に幅広く共催事業を開催し、当館もアクセスのよい地理的条件を活かしその一翼を担っていきます。多くの皆様に各施設を知っていただき、点から面へと事業を拡げ、施策効果を高めていきます。

■ 多彩な事業展開

子育て応援

高齢化社会に向けての備え

全ての施設事業の
掲載チラシ作成、配布

- ★のびのび広場 ★おはなしの部屋
- ★おとうさんといっしょ ★ハロウィン ★英語劇
- ★七夕のおたのしみ会

連携・共催

地域施設
保育園
家庭支援課

小学生講座

夏冬春休みを中心

学区を飛び越えた友達交流

学校カリキュラムを見据えた事業

おこづかいで参加できる価格設定・だれでもスタートできる、キッカケづくりになる講座

- ★こどもパソコン教室 ★将棋であそぼう！
- ★こども科学教室 ★英語であそぼう

生涯学習

社会の動きに合わせたテーマ (コロナ禍収束後)

高齢化社会に向けての備え

お金の増やし方

定年延長に向けて、働きながらでも参加できる曜日、時間設定

- ★パソコン・タブレット講座 ★年金はいつからもらえるの？
- ★生前贈与ってなにがあるの？ ★iDeco・つみたてNISAってどんなもの？

交流

様々な世代

気軽に参加できる

交流を図れる

何かを始める一歩のお手伝い、気軽に参加できる講座、読書からの輪

- ★おんがくの部屋 ★あおば寄席 ★サークル発表会 ★サークル展示会 ★ブックカフェ (図書ボランティア)



<お話のつどい>



<おとうさんといっしょ>



<将棋であそぼう！>



<大人の学習講座>



<おんがくの部屋>

■ 自主事業の実現性

お客様からのニーズにお答えし、利用者会議や、アンケート、意見箱等でいただいたご意見、ご要望を踏まえて、より魅力的な事業を提案していきます。そして過去に開催した実績のある事業をもとに、「やってみよう」「参加してみよう」「聞いてみたい」にお手伝いできる親しみのある事業を展開していきます

6 施設及び設備の維持管理計画

■ 基本的な考え方

- ・職員による日常の点検・清掃と地域サポーターによる植栽・修繕、専門業者による定期点検・保守により、お客様や職員が安全・安心に、清潔・快適に利用できる施設となるよう、維持管理を進めていきます。
- ・故障や事故発生時は「事故連絡票」を活用して事務局や区役所と連携を図りながら、迅速に対応します。
- ・市民施設協会として、各施設における施設・設備の修繕の必要性や緊急度を見極めた中期修繕計画・保全計画を作成し、スケールメリットも生かして財源の確保に努めます。
- ・各施設では、日頃の点検・保守の結果に基づいた早目の修繕を行うなど、施設及び設備の長寿命化を図っていきます。日常点検で気づいた不具合については、具体的な内容や写真により記録を残します。

■ 職員による日常点検・巡視、清掃

- ・日常業務として、常勤職員やスタッフが、独自の「施設安全点検チェックリスト」に基づき、開館前、午前、午後、夜間の各時間帯に分けて、1日4回点検を行います。館内外の設備、備品の巡視点検を行い、不具合が無いか常に確認し、早めの発見と対応を目指します。日常清掃は、クリーンスタッフが毎日3時間かけて丁寧に実施していますが、各時間帯にもそれぞれ日常点検時に施設内外の清掃も行い、施設の美化の徹底を図ります。さらに消防計画に基づく点検として、施設内の消防チェック（シートによる点検、防火扉の開閉など）を毎月行います。
- ・各部屋に温湿度計を設置し、毎時部屋の温度チェックを行い、冷暖房の適切な温度管理に努めています。
- ・トイレや交流コーナーなども、毎時のチェックで、不審物、不審者に一早く対応します。

■ 地域サポーターによる清掃・修繕

地域のスキルを持った方々に協力をいただき、植栽や修繕等を実施します。

■ 専門業者による定期的な点検・保守、清掃の委託

- ・機械警備・空調機保守・建物全般、清掃等、それぞれの分野について、専門性の高い事業者を複数面談の上適切に選定し、その事業者との連携を密にして、年間の維持管理計画を立てていきます。
- ・業種によっては、法人管理施設をまとめて契約することにより、大幅なコストダウンを目指します。
- ・専門事業者による清掃は、利用に支障が出ないよう月1回の休館日に実施し、植栽については、毎年、樹木の剪定等を専門の事業者へ依頼しています。

管理項目		内 容	回 数	実 施 者
建物外構	機械警備装置	点検・保守	随時	事業者
	空調設備	点検・清掃	年7回	事業者
	建物・敷地	建基法12条点検	年1回	事業者(市)
	消防設備	点検・保守	年2回	事業者
	室内	ワックス掛け、清掃	月1回(休館日)	事業者
植 栽	剪定等(主に高木)	剪定・消毒・除草	年2回	事業者

■ 修繕

- ・必要な修繕は、複数事業者から見積もりを取り、ヒアリングを行うなど、適切な業者選定を行います。

■ 経費削減の取組

- ・簡易な修繕や、低木の剪定・除草は、職員がこまめに行うことで、経費削減を図ります。
- ・館独自の「省エネ指針」を作成し、地球温暖化対策に取組むとともに、経費削減に努めます。

7 収支計画（収入計画）

ア 収入計画の考え方について

- 1 収入については、① 横浜市からの指定管理料、② 自主事業収入、③ 雑収入、全て合算し、健全な施設運営に充てていきます。
- 2 当法人は、公益法人として健全で安定的な運営が継続できるよう収入の確保に取り組みます。
 - ① 指定管理料
青葉区役所との協定に基づき、適切に管理するとともに、年に4回運営状況を報告していきます。
 - ② 自主事業収入
原則として、材料費や講師謝金の経費に見合う金額を参加者負担として徴収します。自主事業全体の中で収支の均衡を図ります。仮にそれがプラスの場合は、利用者へ還元していきます。
 - ③ 雑収入（自動販売機手数料、印刷代金など）
利用者サービスの一環で、災害時に非常飲料として活用できる自動販売機を設置し、その手数料を館の収入とします。また、地域の皆さんの利用に供する印刷機やコピー機を設置し、実費相当を徴収します。
- 3 寄附金収入
公益法人としての存在を広くPRするとともに、寄附者に対する優遇税制を活かし、法人の活動内容等を支援してくださる方々からの寄附を募り、施設の管理運営を含む法人活動に役立てていきます。
- 4 新型コロナ禍のような予期せぬ事象が起きた時には、雇用調整助成金をはじめとする助成や制度を積極的に活用し、資金確保に努めます。

イ 増収策について

■ 「寄附へのお願い」の取組など

- 1 横浜市民施設協会は、寄附をした個人や法人に対する税制優遇措置が受けられる団体として公益法人の認定を受けています。公益法人は、会費と寄附も重要な収入源です。「寄附へのお願い」を、広くホームページやチラシなどで個人や法人にPRしていきます。
- 2 自動販売機を設置し、お客様の利便に供するとともに、その手数料収入を管理運営に役立てます。

■ 収入計画の実現性 ～ 積算根拠

収入項目	予算額 (千円)	積算根拠
自主事業収入	655	令和3年度予算
自動販売機手数料	290	同上
印刷代等	274	同上
合計	1,219	

7 収支計画（支出計画）

ウ 支出計画の考え方について

■ 基本的な考え方（特徴・独自性・実現性）

- ・サービスの維持・向上を基本に、必要な経費を確保したうえで、経費の節減を進めます。
- ・多数の施設を管理運営するスケールメリットを活かした施設協会全体としての効率的な執行や管理運営方法の工夫により、健全で安定的な運営が継続できるよう取り組みます。
- ・業務改善を進め、効率的な事務執行により、コストの削減を図ります。
- ・経費のチェック体制を強化し、無駄な経費を抑制します。

■ 経費削減の取組

1 共通物品の在庫管理の徹底

コピー用紙、プリンターナー等の全館共通物品については、複数館を管理しているスケールメリットを活かして一在庫管理を徹底し、経費を抑えます。

併せて、感染症対策にかかる衛生用品についても在庫管理の徹底により経費削減に努めます。

2 委託業者の適切な選定

- ・委託業者の選定にあたっては、複数の事業者を対象に価格や業務内容のヒアリングを行い、経費の削減を含め適切な選定に努めます。

3 事務経費の抑制

事務経費（事務局本部経費）については、事務の一元化・効率化に必要な最低限を確保することとし、指定管理料の全てを有効な施設運営に充てることを目標として、抑制を図ります。

ただし、ポスターの裏面利用等を引き続き進めていきます。

4 職員による日常管理の取組

植栽（主に中低木）は、職員がこまめに手入れすることで、専門業者への委託費用を抑えます。また、小破修繕や簡単な作業は、可能な限り職員が行うようにしていきます。

5 省エネ指針の作成と取組

施設の特性に応じ省エネルギーの取組をまとめた「省エネ指針」を作成し、それに基づき節水や消灯、温度管理などの取組をご利用の皆さんの理解と協力を頂きながら進め、経費の削減を図ります。

また、窓際にゴーヤや朝顔を植え、緑のカーテンを作ることで冷房の効率アップを図り、すべての部屋に扇風機を設置し、空気の流れを作ることによって、冷房の効果をあげています。

6 図書関係の経費を有効に使う取組

- ・独自の図書システムで本のバーコードを館内で印刷できるため、バーコードシールを外注することなく、割安に作成できます。
- ・リユース本や寄贈本を活用し、古くなった本を入れ替えたり、新刊や人気本は複本にしたり、協会の他施設に回し、有効活用を図ります。
- ・青葉台コミュニティのサポーター（有志ボランティア）により、傷んだ本の修復を行い、本の寿命を延ばすことで蔵書冊数を一定にすることができています。

7 新型コロナ感染症予防に係る衛生用品の取組

- ・消毒液は一斗缶でまとめて購入し、ふき取りに使う雑巾等もスタッフの手作りで賄っています。

8 新型コロナウイルス感染症等に係る対応

■ 基本的な考え方

- 1 「利用者にご安心・安全にご利用いただく」ことを最優先に、横浜市のガイドラインに沿って、適宜的確に新型コロナウイルス感染症対策を講じながら運営していきます。
- 2 地域の活動拠点といった役割を引き続きになっていくため、新しい時代の「新しい生活様式」に即した施設の運営を目指していきます。
- 3 地域における「共助」の取組をバックアップし、健康かつ安心・安全で豊かな地域社会をつくり市民の自発的な活動を切れ目なく支援できるよう、従来の実績に加え、新たな発想を生かして取り組んでいきます

■ 拡大防止に係る考え方

安心して施設をご利用いただけるよう対策を講じます。また、利用者にもこまめに理解と協力を呼びかけます

1 密集・密接・密室を避け安全な距離を確保する。

部屋の定員を少なくし、学習室・交流コーナーなどは机やいすの数を減らして、利用人数の調整を行う。図書室の座席を一部利用不可にする他、貸出・返却時に並ぶ時も、床に印をつけてある場所に立つことで、適度な距離を保てるように促します。

2 常に室内換気をする

常時開放で活動していただきます。また、不可能な場合は30分ごとに換気を行うよう呼びかけます。

3 接触到気をつける

印刷料金の受け渡しは必ずトレーを使い、図書担当は薄手ビニール手袋を着用し、接触到気を払います。

4 飛沫防止策

受付・図書カウンターにはビニールのしきりを作り、マスク着用で来客対応します。交流コーナーや図書コーナーでは、透명한仕切りを机の上に置き、自習室は1人1つの机を利用し、間隔をあけ、飛沫防止に取り組んでいます。なお、緊急事態宣言時には、館内の飲食不可とします。

5 消毒を随時行う

部屋利用後は、机・椅子やドアノブやスイッチを消毒します。自習室や交流コーナー図書室など個人利用のスペースは閉館時に消毒する他、利用する方が随時使えるよう雑巾と消毒液を常設します。



感染症対策の取組

■ 自主事業開催の工夫

- ・利用団体の作品・活動発表の動画・静止画をオンラインで定期的に発信
- ・講座のリモート開催…実施施設に来なくても、多くの方が自宅や他の地区センターで受講可能に
- ・各施設で実施・作成した自主事業動画専用のHPをつくり、好きな講座を自由に視聴できる環境を整備

■ 感染防止の観点を踏まえた受付の提案

- ・部屋の抽選は、来館・FAXなどで事前予約の上、5日に事務所にて抽選という形を継続します。今後、図書においても利便性の向上と感染症対策として、返却ポスト設置を実施します。

■ インターネットを活用した情報発信の推進等

- ・地域の知識・経験が豊富な方を講師にした講座を開催し、操作方法や取扱いに不慣れな方を支援します。併せて、インターネットに不慣れな方に情報をお届けするため、自治会回覧等による紙媒体での情報提供も継続します。
- ・デジタルサイネージを活用した地域情報の発信により、新しい来館者を増やし、寄附などによる支援をお願いする(寄附金収入増)。

横浜市青葉台コミュニティハウス自主事業計画書

団体名 公益社団法人 横浜市民施設協会

事業名	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料 から充当	参加費	講師謝金	材料費	その他
地域・世代間交流							
おんがくの部屋	子ども～一般	5,000	5,000	0	0	0	楽器運搬費 5,000
	60名×4回						
	0円						
あおば寄席	子ども～一般	25,000	25,000	0	18,000	7,000	0
	80名						
	0円						
サークル展示(発表)会	子ども～一般	0	0	0	0	0	0
	定員なし						
	0円						
冬のお笑い教室	小学生～一般	32,000	17,000	15,000	24,000	8,000	0
	10名						
	1500円						
初笑い あおば寄席	子ども～一般	0	0	0	0	0	0
	80名						
	0円						
子育て支援							
おはなしの部屋	幼児～一般	19,000	19,000	0	19,000	0	0
	30名×19回						
	0円						
のびのび広場 【地域包括支援センターコー ポ事業】	幼児と母親	0	0	0	0	0	0
	10組						
	0円						
おとうさんといっしょ 【地域包括支援センターコー ポ事業】	幼児と父親	7,000	2,000	5,000	5,000	2,000	0
	10組						
	500円(1組)						
七夕のおたのしみ会	幼児～一般	5,000	5,000	0	3,000	2,000	0
	60名						
	0円						
ハロウィンのおたのしみ会	幼児と保護者	10,000	0	10,000	5,000	5,000	0
	20組						
	500円(1組)						
英語劇	幼児～一般	5,000	5,000	0	5,000	0	0
	60名						
	0円						
青少年育成							
将棋であそぼう!	小学生	10,000	0	10,000	0	10,000	0
	20名						
	500円						
こども科学教室	小学生	11,000	5,000	6,000	5,000	6,000	0
	20名						
	300円						
プラネタリウムを体験しよう	小学生	2,000	0	2,000	0	2,000	0
	20名						
	100円						

事業名	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料 から充当	参加費	講師謝金	材料費	その他
楽しくスクラップブックング!	小学生						
	12名						
	500円	11,000	5,000	6,000	5,000	6,000	0
古代の装飾品 「まが玉」を作ろう!	小学生～一般						
	20名						講師交通費
	300円	8,000	2,000	6,000	0	6,000	2,000
ビブリオバトルで 本を紹介しよう!	小・中学生						
	10名						
	0円	0	0	0	0	0	0
こども工作教室 ペーパークラフトを作ろう!	小学生						
	20名						
	300円	8,000	2,000	6,000	7,000	1,000	0
こども手芸教室	小学生						
	20名						
	300円	11,000	5,000	6,000	5,000	6,000	0
健康・生きがいがづくり							
【施設協会コラボ】 認知症予防講座	一般						
	20名						
	0	0	0	0	0	0	0
【施設協会コラボ】 青葉遺跡めぐり ～市ヶ尾から荏田～	一般						保険料
	20名			1館分			講師移動費
	500円(全2回分)	5,000	2,500	2,500	0	3,000	2,000
【施設協会コラボ】 青葉遺跡めぐり ～美しが丘からたまプラーザ周辺～	一般						保険料
	20名			1館分			講師移動費
	500円(全2回分)	5,000	2,500	2,500	0	3,000	2,000
【施設協会コラボ】 フランス音楽史を学ぶ ※フィリアホール共催	一般						
	20名						
	0	0	0	0	0	0	0
【施設協会コラボ】 ピンクリボン展示 ※ピンクリボンかながわ協力	学生～一般						
	定員なし						
	0円	0	0	0	0	0	0
ブックカフェ	一般						
	不定期						
	100円	4,000	0	4,000	0	4,000	0
読み聞かせを学ぼう!	一般						
	10名						
	300円	5,000	2,000	3,000	5,000	0	0
大人の初級将棋教室	一般						
	10名						
	500円	5,000	0	5,000	0	5,000	0
うたごえ広場	一般						
	30名×2回						
	300円	18,000	0	18,000	12,000	6,000	0
手相教室	一般						
	10名						
	1000円	3,000	2,000	1,000	3,000	0	0

事業名	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料 から充当	参加費	講師謝金	材料費	その他
足裏マッサージ	一般	5,000	0	5,000	5,000	0	0
	10名						
	500円						
クリスマスリースの アレンジメント	一般	70,000	0	70,000	10,000	60,000	0
	20名						
	3500円						
かんたんストレッチ体操	一般	20,000	2,000	18,000	18,000	0	保険料 2,000
	20名						
	1000円						
高齢化社会への対応							
【施設コラボ事業】 人にやさしい介護を学ぼう！ (株)ベネッセスタイルケア協力	一般	0	0	0	0	0	0
	20名						
	0円						
大人のマネー教室	一般	0	0	0	0	0	0
	30名×3回						
	0円						
大人の学習講座 暮らしとお金シリーズ(①～⑤)	一般	30,000	0	30,000	25,000	5,000	0
	20名×5回						
	300円						
大人の学習講座 暮らし安心シリーズ(①～⑤)	一般	30,000	0	30,000	25,000	5,000	0
	20名×5回						
	300円						
安心・安全な「整理収納」 ～いざという時のために～ (非常用品の準備と保管)	一般	6,000	0	6,000	5,000	1,000	0
	30名						
	200円						
利用促進							
本の修理ボランティア 養成講座	一般	4,000	4,000	0	0	4,000	0
	10名×2回						
	0円						
ナイトフラダンス体験教室	一般	10,500	0	15,000	9,000	0	保険料 1,500
	10名						
	1500円						
マンデーナイトヨガ	一般	216,000	0	225,000	135,000	54,000	保険料 27,000
	15名×3回						
	5,000						
フライデーヨガ(Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ期)	一般	450,000	0	450,000	396,000	0	保険料 54,000
	30名×3回						
	5000円						
初級英会話講座	一般	40,000	5,000	35,000	40,000	0	0
	10名						
	3500円						
合 計		1,095,500	117,000	992,000	789,000	211,000	95,500

事業ごとの事業内容等を様式4に記載してください。


横浜市青葉台コミュニティハウス自主事業別計画書(単表)


団体名 公益社団法人 横浜市民施設協会


事業名	地域・世代間交流	目的・内容	実施時期・回数
おんがくの部屋 		<p>【目的】 地域のお子様から大人まで、世代を超えた多くの皆様に、気軽に音楽を楽しんでいただく交流の場として開催。また、当館を知っていただくきっかけになればと考えています。</p> <p>【内容】 当館で活動されている音楽サークルの方々を中心に、地域の中学校のバンドや大学のサークルの皆さんなど、地域で活動されている方々にお越し、演奏や歌を披露していただきます。ジャンルはクラシックからジャズ、邦楽までと様々で、多くの方にご参加いただけるよう参加費は無料です。</p>	6・9・11・3月 4回 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">利用団体との協働</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">地域の学校との連携</div>
あおば寄席 		<p>【目的】 地域のお子様から大人まで、世代を超えた多くの皆様に、気軽に落語を楽しんでいただく交流の場として開催。当館に足を運んでいただくきっかけづくりにもなっています。</p> <p>【内容】 当館で長年続いている、毎年夏の夕方に行う伝統的な事業です。落語は出前落語で活躍されている方を中心に、「冬のお笑い教室」で腕を磨いた方々が出演し、落語だけでなく、踊りや腹話術などの出し物もあり、無料で地域の皆様にお楽しみいただいています。</p>	8月 1回 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">利用団体との協働</div>
サークル展示会 (サークル発表会) 		<p>【目的】 当館活動サークルの日頃の成果の発表の場として、地域の多くの方々にいらしていただき交流を深めていただきます。展示や発表をすることによりサークルの活性化に繋がり、実行委員会を立ち上げ企画・実施するため、サークル同士の交流も生まれます。また、会員募集サークルのポスターも展示し、仲間づくりの支援も行います。</p> <p>【内容】 当館は部屋数が少ないため、展示と発表を毎年10月に交互に開催しており、各サークルの実行委員を中心に企画・準備を行い当日を迎えます。発表は楽器演奏、フラダンス、バレエ、太極拳やコーラス、詩吟等、展示は写真、絵手紙、手縫い小物やビーズアクセサリー、刺しゅう、シャドーボックス等で即売も行い、地域の皆様で賑わいます。</p>	10月 展示会 1回(2日間) (発表会 1回) <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">利用団体との協働</div>
冬のお笑い教室 		<p>【目的】 1つの落語を覚えて発表することにより、達成感を味わい、落語の楽しさを知っていただくという講座です。小学生から大人までの異世代が集い、お互いに切磋琢磨し稽古をすることで連帯感も生まれます。</p> <p>【内容】 地域で出前落語で活躍されている落語家の指導により、所作や話し方を学びながら1つの落語を覚え、「初笑いあおば寄席」に出演し発表してみるという講座です。演目決めには当館の落語の本を参考にしています。演じる楽しさを知ったりリピーターの方も大変多い講座です。</p>	12・1月 全4回 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">図書関連事業</div>


横浜市青葉台コミュニティハウス自主事業別計画書(単表)

団体名 公益社団法人 横浜市民施設協会

事業名	地域・世代間交流	目的・内容等	実施時期・回数
初笑いあおば寄席 		<p>【目的】 「冬のお笑い教室」の発表の場として開催します。「冬のお笑い教室」の参加者が高座に上がり、一生懸命稽古を重ねた成果を披露します。</p> <p>【内容】 毎年1月に開催し、「冬のお笑い教室」の参加者が出演する寄席です。お正月気分を盛り上げるため、地域の「下恩田囃子保存会」の皆様も駆けつけてくださり、獅子舞を披露していただきます。地域の皆様や参加者のご家族で大変賑わいます。</p>	<p>1月</p> <p>1回</p> <p>地域団体との連携</p>


事業名	子育て支援	目的・内容	実施時期・回数
おはなしの部屋 		<p>【目的】 幼児向けのおはなし会。幼児だけでなく、親や大人も一緒に楽しめたりホッとできるよう、また、仲間づくりの場としても役立つ、子育て中の親子を応援する講座です。読み聞かせで使用した絵本を、当館の図書室でもう一度手に取る親子も多く、幼児が絵本に親しむきっかけづくりにもなっています。</p> <p>【内容】 当館のサークル「おはなしひなたポッコ」の皆さんによる、年間を通して開催する幼児向けのおはなし会。毎回、絵本、紙芝居、パネルシアターなど様々な趣向を凝らした演目を行っています。夏休みやクリスマスなどの季節に応じたものや、時にはスペシャルとして、絵本作家を招いて行うこともあります。参加費は無料です。</p>	<p>通年</p> <p>19回</p> <p>図書関連事業</p> <p>利用団体との協働</p>


事業名	子育て支援	目的・内容	実施時期・回数
「のびのび広場」 【地域包括支援センターコラボ】 		<p>【目的】 イヤイヤ期を迎えた子供たちにどう対処したり、どんな遊びが適しているのか、地域の保育園の先生たちにお願ひして遊んでいただきます。またお母さんたちの悩み相談に保育園長さんからアドバイスをいただきます。</p> <p>【内容】 当館のお話の部屋を担当していただいている、「おはなしひなたポッコ」さんに本の読み聞かせ、保育園の先生の体操やお遊びであそんでいただきます。後半はボランティアにお子さんを見ていただき、子育ての悩みや相談をお母さん同志や幼稚園の先生たちに聞いていただきます。</p>	<p>7月</p> <p>1回</p> <p>地域の保育園との連携</p> <p>図書関連事業</p> <p>利用団体との協働</p>


事業名	子育て支援	目的・内容	実施時期・回数
おとうさんといっしょ 【地域包括支援センターコラボ】 		<p>【目的】 「父の日」イベントとして、日ごろなかなか一緒に遊べないおとうさんと一緒に、おもいっきりからだを動かし、コミュニケーションをとっていただく場を提供します。</p> <p>【内容】 英語を使ったリトミックや、ゲームなどからだを使ったアクティビティで遊んでいただいてから、お絵かきでお父さんへのプレゼントを作ります。</p>	<p>6月</p> <p>1回</p> <p>図書関連事業</p> <p>地域の施設との連携</p>


横浜市青葉台コミュニティハウス自主事業別計画書 (単表)

団体名 公益社団法人 横浜市民施設協会

事業名	子育て支援	目的・内容	実施時期・回数
七夕のおたのしみ会 		<p>【目的】 地域の幼児や子どもに、七夕という日本の伝統行事を伝え、親子で楽しんでいただくためのお楽しみ会です。</p> <p>【内容】 地域の方に毎年笹を寄付していただき、会場に飾ります。皆で願い事を書いた短冊を吊るしたり、七夕の本の読み聞かせ、紙芝居や人形劇で楽しんでいただきます。家でも短冊が飾れるよう、参加者には小さな笹を、お土産として持ち帰っていただきます。どなたでも参加できるよう参加費は無料です。</p>	7月 1回 図書関連事業


事業名	子育て支援	目的・内容	実施時期・回数
ハロウインのおたのしみ会 		<p>【目的】 地域の子育て中の親子を支援する行事の1つで、親子でハロウインの行事を楽しみ、仲間づくりや親子交流に繋がります。また、幼児が英語に触れ、他国の文化を知る機会を与えます。</p> <p>【内容】 英語圏の外国人講師を招き、親子で仮装をしたり、簡単な英語を使ってゲームをしたり、歌や手遊びをして楽しんでいただきます。参加費も親子で参加しやすいリーズナブルな料金に設定します。</p>	10月 1回

事業名	子育て支援	目的・内容	実施時期・回数
英語劇 		<p>【目的】 地域の子育て中の親子を支援する行事の1つで、幼児や小学生が英語に触れる機会を提供します。</p> <p>【内容】 当館のサークル「劇団 洋梨のタルト」の皆さんによる英語劇です。「白雪姫」や「ピーターパン」「桃太郎」など、誰もが知っている演目を、日本語のナレーションや歌、踊りを交え、英語に触れたことのない幼児でも楽しめるような工夫を行っています。終了後には出演者と一緒に、簡単な英語を使った歌や手遊びを行い親子で楽しみます。多くの方にご参加いただけるよう参加費は無料です。</p>	3月 1回 利用団体との協働


事業名	青少年育成	目的・内容	実施時期・回数
将棋であそぼう！ 		<p>【目的】 小学生に将棋に親んでもらい、それだけでなく礼儀や挨拶も学びます。また、最終日にはグループ毎の対局もあり、負けた時の悔しさも体験します。普段あまり接することのない年代の講師と接することにより、世代間の交流にも繋がっています。</p> <p>【内容】 夏休みの期間を利用した、小学生を対象とした将棋教室で、駒の動かし方から戦法まで学び、最終日はグループに分かれて対局となります。当館で活動されている将棋サークル「九友会」の皆さんに講師を務めていただき、10名近くの講師陣のお蔭で、参加者一人ひとりにも目が行き届き、きめ細やかな指導ができると好評です。</p>	7月 全5回 利用団体との協働


横浜市青葉台コミュニティハウス自主事業別計画書(単表)


団体名 公益社団法人 横浜市民施設協会

事業名	青少年育成	目的・内容	実施時期・回数
こども科学教室 		<p>【目的】 小学生が科学に興味を持つきっかけづくりを目指します。低学年は保護者と一緒に作成することも多く、親子交流にも繋がります。また、普段あまり接することのない年代の講師陣と接することで、世代間の交流も生まれます。</p> <p>【内容】 地域の団体「ひととゆめのネットワーク」の皆さんに講師をしていただき、「ペットボトルで風力発電」「ソーラーカー」「天体望遠鏡」など毎回違うテーマで行う小学生向けの科学教室です。最初に原理や仕組みを学習し、その後実際に作品を作成します。講師陣が小学生でも作れるように工夫して下さるため、きちんと作品が完成し、夏休みの研究作品にもなり、大変人気のある講座です。</p>	7月 1回

地域団体との連携

事業名	青少年育成	目的・内容	実施時期・回数
プラネタリウムを体験しよう! 		<p>【目的】 小学生の夏休みの体験として思い出にさせていただく講座です。夏の星座をみて理解を深め、理科の工作としてモビールを作ります。</p> <p>【内容】 移動プラネタリウムを設置して、みんなで夏の星座を先生の説明とともに見ることにより理解を深めます。夏の理科工作の宿題にモビールを作ります。</p>	8月 1回


事業名	青少年育成	目的・内容	実施時期・回数
楽しくスクラップブック スクラップブック 		<p>【目的】 小学生の夏休みの自由工作を視野に入れた講座です。作品作成は、子どもの創造性・独創性を養い、またスクラップブックをすることで、夏の思い出を形に残すことができます。</p> <p>【内容】 夏休みを利用した小学生向けの講座。夏の思い出の写真をカラフルな色紙やステッカー、様々な素材で装飾して作品に仕上げます。スクラップブックで地域で活躍されている方に講師になっていただき、ステキな作品を完成させます。</p>	8月 1回


事業名	青少年育成	目的・内容	実施時期・回数
古代の装飾品「まが玉」を作ろう! 		<p>【目的】 古代の装飾品を作ることで、古代の生活や歴史などに興味を持つきっかけになればと考えます。また、まが玉を削る作業は集中力や持続力も必要で、完成時の達成感もひとしおです。親子で参加される方も多く、親子交流にも繋がります。</p> <p>【内容】 夏休み期間を利用した小・中・高生～大人向けの講座で、横浜市ふるさと歴史財団 埋蔵文化財センターにご協力いただき、講師の派遣や材料の準備までお願いしています。最初にまが玉の歴史的背景などの説明をし、その後、実際にまが玉を作成していきます。出来上がった作品は、ストラップやペンダントとして使うことができます。</p>	7月 1回


他施設との連携

横浜市青葉台コミュニティハウス自主事業別計画書（単表）

団体名 公益社団法人 横浜市民施設協会

事業名	青少年育成	目的・内容	実施時期・回数
ビブリオバトルで 本を紹介しよう！ 		目的 本を仲立ちとした取組を通じ、青少年の読書への啓発と、コミュニケーション力の向上を図ります。 内容 ビブリオバトルとは書評合戦のことで、参加者が自分の紹介したい本の発表をそれぞれ行い、投票で優勝者を決めます。近隣の小・中学校と協力して参加者を選出することも考えています。	12月 1回 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">図書関連事業</div>


事業名	青少年育成	目的・内容	実施時期・回数
こども工作教室 ペーパークラフトを 作ろう！ 		【目的】 小学生にペーパークラフトの楽しさを味わってもらいます。細かい作業の連続が集中力、持続力を養い、1つの作品を仕上げる達成感を味わうことができます。 【内容】 冬休み期間を利用し、造形デザイナーの講師がデザインをした様々な動物のペーパークラフトを作成する小学生向けの講座です。	12月 1回


事業名	青少年育成	目的・内容	実施時期・回数
こども手芸教室 		【目的】 色々な材料を使い作品を仕上げることで、小学生に手芸に興味を持ってもらい、作ることの楽しさを体験してもらう講座です。 【内容】 春休みの頃に行う小学生向けの手芸講座。布を使って作る「カルトナージュの小銭入れ」や、極太のモールを使った「モールのふわふわうさぎ」など、毎年様々な作品を作成しています。講師は近隣で活躍されている方にお願ひし、小学生が簡単に作成できるよう下準備や解りやすい説明をしてくださるので、毎回ステキな作品が完成し、参加者にも好評な講座です。	3月 1回

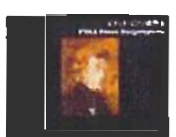
事業名	健康・生きがいづくり	目的・内容	実施時期・回数
【施設コラボ事業】 認知症予防講座		【目的】 地域包括支援センターより講師を迎え認知症についての知識を高めてる講座です。 【内容】 当協会の管理運営する施設が共同で企画する事業で、ケアマネジャーさんに認知症の症状や、特徴を知り対処の仕方などを学びます。	9月から12月 全7館/7回 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">施設コラボ</div>


横浜市青葉台コミュニティハウス自主事業別計画書(単表)

団体名 公益社団法人 横浜市民施設協会

事業名	健康・生きがいがづくり	目的・内容	実施時期・回数
【施設コラボ事業】 青葉遺跡めぐり ～市が尾から荏田～ 		【目的】 毎回、各施設を拠点とすることで様々な施設を知っていただき、地域の遺跡を学ぶだけでなく、散策を通して仲間づくりや健康づくりを支援します。 【内容】 当協会の管理運営する施設が共同で企画する遺跡散策講座です。各施設で講師より簡単な講義を受けた後に、地域の遺跡を学びながら散策します。	1・2月 全2回/2館 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">施設コラボ</div>


事業名	健康・生きがいがづくり	目的・内容	実施時期・回数
【施設コラボ事業】 青葉歴遺跡めぐりⅡ ～美しが丘からたま プラザ周辺～ 		【目的】 毎回、各施設を拠点とすることで様々な施設を知っていただき、地域の遺跡を学ぶだけでなく、散策を通して仲間づくりや健康づくりを支援します。 【内容】 当協会の管理運営する施設が共同で企画する遺跡散策講座です。各施設で講師より簡単な講義を受けた後に、地域の歴史を学びながら散策します。	1・3月 全2回/2館 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">施設コラボ</div>


事業名	健康・生きがいがづくり	目的・内容	実施時期・回数
【施設コラボ事業】 フランス音楽史 を学ぶ ※青葉区民文化セン ター・フィリアホール共催 		【目的】 事前にコンサートで演奏される曲目の歴史的背景等を知ることで、より楽曲への理解が深まり、また各施設を巡ることで様々な施設を知っていただき、利用促進に繋がります。 【内容】 当協会の管理運営する施設が共同で企画する事業で、フィリアホールで開催するショパンのコンサートとコラボレーションして開催します。各施設で大学の専門講師より、フランス音楽史について様々なテーマで学ぶ講座です。	2月 1回 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">施設コラボ</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">他施設との連携</div>


事業名	健康・生きがいがづくり	目的・内容	実施時期・回数
【施設コラボ事業】 ピンクリボン展示 ※ピンクリボンかながわ 協力 		【目的】 乳がんの早期発見、早期治療の大切さを、地域の一人でも多くの皆様に知っていただくために開催します。 【内容】 「ピンクリボンかながわ」の協力を得て、当協会の管理運営する施設で期間を変えて、ピンクリボンのパネル展示や乳房模型を使ったしこりの触診体験を行います。ピンバッジやストラップの売り上げは、ピンクリボン活動への賛同として寄付させていただきます。	2月(各館6日間) 5回/5館 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">施設コラボ</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">他施設との連携</div>


横浜市青葉台コミュニティハウス自主事業別計画書（単表）

団体名 公益社団法人 横浜市民施設協会

事業名	健康・生きがいがづくり	目的・内容	実施時期・回数
ブックカフェ 		<p>【目的】 大人から子供までがゆったりとした時間を過ごしてもらえる雰囲気大切に、本について語り合ったりできる場所を提供します。</p> <p>【内容】 好きなお茶を片手に、本について語り合ったり、本に関するボランティア活動を行ったりします。</p>	不定期 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">図書関連事業</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; color: red;">利用団体との協働</div>


事業名	健康・生きがいがづくり	目的・内容	実施時期・回数
読み聞かせを学ぼう 		<p>【目的】 子どもやお孫さんなどのために、お話や紙芝居等を上手に読むためのコツを学びます。また、一緒に楽しむことで子どもとの触れ合いを深めたり、参加者同士の仲間づくりにもつなげます。</p> <p>【内容】 当館のおはなし会のサークルのメンバーが講師になり、全3回で行う読み聞かせを学ぶ講座です。発声練習から始まり、最後は自分で選んだ絵本の読み聞かせの発表です。参加者の中には当館のおはなし会サークルに加わり、活動される方もいらっしゃいます。</p>	2月 全3回 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">図書関連事業</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; color: red;">利用団体との協働</div>


事業名	健康・生きがいがづくり	目的・内容	実施時期・回数
大人の初級将棋教室 		<p>【目的】 将棋の基礎を覚えて、趣味を通じての仲間づくりをすることが目的です。</p> <p>【内容】 当館の将棋サークルのメンバーが講師となり、大人の初心者を対象に、前半は講義、後半は対局というスタイルで全3回行います。講座終了後は当館の将棋サークルへの入会をお勧めし、一緒に活動される方も沢山いらっしゃいます。</p>	4月 全3回 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; color: red;">利用団体との協働</div>


事業名	健康・生きがいがづくり	目的・内容	実施時期・回数
うたごえ広場 		<p>【目的】 懐かしい歌を皆で歌うことで、ストレスを解消させ楽しんでいただくことが目的です。</p> <p>【内容】 当館の活動されているギターサークルとコーラスサークルが、それぞれギターとピアノの伴奏で、懐かしい歌や、皆のよく知っている歌を参加者と歌う、人気の高い講座です。休憩時にはサークルの演奏を聴いたり、お茶のサービスもあります。</p>	6・10月 2回 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; color: red;">利用団体との協働</div>


横浜市青葉台コミュニティハウス自主事業別計画書 (単表)

団体名 公益社団法人 横浜市民施設協会

事業名	健康・生きがいづくり	目的・内容	実施時期・回数
手相教室 		【目的】 基本の手相の決まり事を知り、統計学を学んでいただく講座です。 【内容】 基本の手相の線を学び参加者の手相を例に参加者全員で解説します。	10月 1回

事業名	健康・生きがいづくり	目的・内容	実施時期・回数
足裏マッサージ 		【目的】 足つぼの仕組みを知り自分の健康状態を確認する講座です。 【内容】 足つぼの効用を知り、自分の健康状態を確認し実際に足つぼを押す体験をする講座です。	9月 1回

事業名	健康・生きがいづくり	目的・内容	実施時期・回数
クリスマスリースの アレンジメント 		【目的】 生の枝を使ったリースのアレンジメント作りを体験し、作品を作る面白さを味わっていただき、さらに出来上がった作品を家庭で飾り、長く楽しんでいただきます。 【内容】 講師の指導のもと、生の枝を使った贅沢でシックなクリスマスリースのアレンジメントを作成します。	12月 1回

事業名	健康・生きがいづくり	目的・内容	実施時期・回数
かんたん ストレッチ体操 		【目的】 簡単なストレッチの方法を覚え、家庭でも実践していただき、健康づくりにつなげます。 【内容】 肩こりや腰痛、膝痛などを防止する、誰でも家庭で簡単にできるストレッチ体操をインストラクターより繰り返し学ぶ講座です。	9月 1回


横浜市青葉台コミュニティハウス自主事業別計画書(単表)


団体名 公益社団法人 横浜市民施設協会


事業名	高齢化社会への対応	目的・内容	実施時期・回数
【施設コラボ事業】 人にやさしい 介護を学ぼう！ ※(株)ベネッセスタイル ケア協力 		【目的】 地域社会の高齢化に伴い、生活に役立つ情報を発信することで、正確な知識を身に付け生活の向上や安心につなげます。 【内容】 当協会の管理運営する施設が共同で企画した事業で、近隣の介護施設の協力を得て開催する介護講座。介護技術と介護用品、認知症について等、毎回テーマを決めて開催します。実際に介護に携わっているプロの方より学べるので、実例を交えた具体的な話が聞け、実際に役立つ知識が得られます。	5・2月 2回 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">施設コラボ</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; color: red;">他施設との連携</div>
事業名	高齢化社会への対応	目的・内容	実施時期・回数
大人のマネー教室 		【目的】 営利目的ではない公平な立場からの講師より、生活に役立つ情報を地域に発信することで、正確な知識を身に付け生活の向上を目指します。 【内容】 神奈川県金融広報委員会より金融広報アドバイザーを講師として派遣していただき、「株式投資」や「投資信託」、「NISAの活用法」「株式市場の注目点」等、様々なテーマで講義をしていただきます。	9・1月 2回 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; color: red;">他施設との連携</div>
事業名	高齢化社会への対応	目的・内容	実施時期・回数
大人の学習講座 暮らしとお金シリーズ (①～⑤) 		【目的】 地域社会の高齢化に伴い、生活に役立つ情報を発信することで、正確な知識を身に付け生活の向上や安心につなげます。 【内容】 青葉区近隣のファイナンシャルプランナーのグループに講師になっていただき、セカンドライフにおいての所得の減少、物価の上昇、税金・社会保険料の負担増などどのように対応していけばよいのかを考え、提案していただく講座です。 【テーマ】 「セカンドライフプランの作成」「金融商品の活用」「セカンドライフの家計管理」「介護費用と包括的支援」「税金や社会保険料の仕組み」	6～8月 5回 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; color: red;">地域団体との協働</div>
事業名	高齢化社会への対応	目的・内容	実施時期・回数
大人の学習講座 暮らし安心シリーズ (①～⑤) 		【目的】 地域社会の高齢化に伴い、生活に役立つ情報を発信することで、正確な知識を身に付け生活の向上や安心につなげます。 【内容】 青葉区近隣のファイナンシャルプランナーのグループに講師になっていただき、セカンドライフにおいて、対処していかなければならない様々な問題に、どのように対応していけばよいのかを考え、提案していただく講座です。 【テーマ】 「終の棲家の選択」「エンディングノートの勧め」「ケアマネージャーと在宅介護」「相続税改正後の相続」「老後の資産における家の活用法」	9～1月 5回 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; color: red;">地域団体との協働</div>


横浜市青葉台コミュニティハウス自主事業別計画書（単表）

団体名 公益社団法人 横浜市民施設協会

事業名	高齢化社会への対応	目的・内容	実施時期・回数
安心・安全な 「整理収納」 いざという時のための 非常用品の準備と 保管 		【目的】 地域に向けて、生活に役立つ情報を発信することで、生活の向上や安心を図り、また防災に向けての意識を高め、備えにもつなげます。 【内容】 整理・収納アドバイザーやDIYの資格をもった講師より学ぶ「整理・収納」講座です。特に「防災」をテーマに、収納や家具の設置の仕方、非常用品の準備と保管について詳しく学びます。実例を交えた具体的な話も聞け、実際に役立つ知識が得られます。	2月 1回


事業名	利用促進	目的・内容	実施時期・回数
本の修理 ボランティア 養成講座 ※山内図書館共催 		【目的】 本の修理をするときに役立つ製本の方法を習得してもらい、参加者の中から本の修理ボランティアを立ち上げ、当館の空き室を利用させていただくことがねらいです。 【内容】 横浜市山内図書館との共催で、全2回で、本の修理のための3種類の製本の仕方を学ぶ講座です。	12月 全2回×2 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">図書関連事業</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">他施設との連携</div>


事業名	利用促進	目的・内容	実施時期・回数
ナイトフラダンス 体験教室 		【目的】 心と身体をリラックスさせ健康づくりを目指します。水曜日の夜間の枠で行い、若いお勤め帰りの方でも参加しやすくサークル化を目指します。 【内容】 初心者向けのフラダンス講座。講師は地域で活躍しているインストラクターの方をお願いしています。	5月 全3回 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">利用団体との協働</div>

事業名	利用促進	目的・内容	実施時期・回数
マンデーナイトヨガ 		【目的】 心と身体をリラックスさせ健康づくりを目指します。毎週月曜日の夜間の枠で行いお勤め帰りの方でも参加できます。また男性の講師を招き男性でも参加しやすく企画し、利用者増加につなげています。 【内容】 初心者向けのヨガ講座。定員が20名なので、とてもアットホームな雰囲気参加者同士の交流も生まれています。講師は地域で活躍しているヨガインストラクターの方をお願いしています。	4～7月 9～11月 12～3月 全9回×3 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">利用団体との協働</div>

横浜市青葉台コミュニティハウス自主事業別計画書 (単表)

団体名 公益社団法人 横浜市民施設協会

事業名	利用促進	目的・内容	実施時期・回数
フライデーヨガ (Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ期) 		<p>【目的】 心と身体をリラックスさせ健康づくりを目指します。毎週金曜日に開催し大変、人気の講座です。</p> <p>【内容】 初心者向けのヨガ講座。定員が20名なので、とてもアットホームな雰囲気参加者同士の交流も生まれています。講師は地域で活躍しているヨガインストラクターの方をお願いしています。</p>	4～7月 9～11月 12～3月 全12回×3 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">利用団体との協働</div>

事業名	利用促進	目的・内容	実施時期・回数
初級英会話講座 		<p>【目的】 夜間の小会議室の利用を視野に入れた事業で、自主事業後のサークル化を目指し、夜間の部屋利用率アップを図ります。</p> <p>【内容】 初心者向けの英会話講座です。一人ひとりまで目が行き届くよう、少人数で行います。講師は地域の国際交流ラウンジで活躍中の、外国人講師の方をお願いします。</p>	9・10月 全8回

単独団体名・共同事業体名	公益社団法人横浜市民施設協会
施設名	横浜市青葉台コミュニティハウス

令和4年度収支予算書(兼指定管理料提案書)

I. 指定管理料

(単位：千円)

提案額 (a)	29,930	指定管理料＝小計【イ】を記入 ※区指定上限額 (b) の範囲内で提案してください。
※区指定上限額 (b)	29,930	
差引 (a) - (b)	0	
提案額の区指定上限額に対する割合 (a) / (b)	100.0%	

II. 令和4年度収支予算書(総括表)

1 収入の部

項目	合計金額 (単位：千円)	備考
自主事業収入 [A]	655	
雑入 [B]	564	
小計 【ア】 ([A]~[B])	1,219	施設運営収入の計
指定管理料 [C]	29,930	【ウ】 - 【ア】
小計 【イ】 ([C])	29,930	指定管理料
収入合計 ([ア] + 【イ])	31,149	

2 支出の部

項目	合計金額 (単位：千円)	備考
人件費 [a]	20,259	
事務費 [b]	1,982	
自主事業費 [c]	799	
管理費A (光熱水費等) [d]	2,635	
管理費B (保守管理費等) [e]	2,840	
公租公課 [f]	2,139	
事務経費 [g]	495	
支出合計 【ウ】 ([a] ~ [g])	31,149	

※金額は、消費税及び地方消費税(10%)込みの額を記載してください。

単独団体名・共同事業体名	公益社団法人横浜市民施設協会
施設名	横浜市青葉台コミュニティハウス

令和4年度収支予算書

1 収入の部内訳（指定管理料除く）

（単位：千円）

	項 目	内 容 等	金 額		
自主事業収入			ア	655	
			イ		
			ウ		
			エ		
			オ		
		小 計		[A]	655
雑入	印刷代		カ	269	
	自動販売機手数料		キ	290	
	その他	寄附金、利子、古紙	ク	5	
			ケ		
			コ		
			サ		
		小 計		[B]	564
小 計 【ア】		施設運営収入計		1219	[A]～[B]

※金額は、消費税及び地方消費税（10%）込みの額を記載してください。

単独団体名・共同事業体名	公益社団法人横浜市民施設協会
施設名	横浜市青葉台コミュニティハウス

令和4年度収支予算書

2 支出の部内訳（ニーズ対応費除く）

(単位：千円)

	項 目	内 容 等	金 額		
人件費	正規雇用職員		ア	9,940	
	臨時雇用職員		イ	9,803	
	対象外の人件費		ウ	516	ウ-1～ウ-4
	通勤手当		ウ-1	346	
	健康診断費		ウ-2	26	
	勤労者福祉共済掛金		ウ-3	0	
	退職給付引当金繰入額		ウ-4	144	
	小 計		[a]	20,259	ア～ウ
事務費	旅費		エ	20	
	消耗品費		オ	660	
	会議ठीい費		カ	10	
	印刷製本費		キ	100	
	通信費		ク	200	
	使用料及び賃借料		ケ	25	ケ-1～ケ-2
	横浜市への支払い分		ケ-1	11	
	その他		ケ-2	14	
	備品購入費		コ	100	
	図書購入費		サ	500	
	施設賠償責任保険		シ	16	
	職員等研修費		ス	10	
	振込手数料		セ	32	
	リース料		ソ	44	
	手数料		タ	262	
	地域協力費		チ	3	
			ツ		
			テ		
小 計		[b]	1,982	エ～テ	
自主事業費		[c]	799		
管理費 A	電気料金		ト	1,509	
	ガス料金		ナ	621	
	上下水道料金		ニ	505	
	小 計		[d]	2,635	ト～ニ
管理費 B	清掃費		ヌ	528	
	修繕費		ネ	600	
	機械警備費		ノ	132	
	設備保全費		ハ	1,580	ハ-1～ハ-6
	空調衛生設備保守		ハ-1	806	
	消防設備保守		ハ-2	57	
	電気設備保守		ハ-3	387	
	害虫駆除清掃保守		ハ-4	0	
	駐車場設備保全費		ハ-5	0	
	その他保全費		ハ-6	330	
	共益費		ヒ	0	
		フ			
		ヘ			
小 計		[e]	2,840	ヌ～ヘ	
公租公課	事業所税		ホ	0	
	消費税		マ	2,139	
	印紙税		ミ	0	
	その他()		ム	0	
	小 計		[f]	2,139	ホ～ム
事務経費	本部分		メ	24	
	当該施設分		モ	471	
	小 計		[g]	495	メ～モ
小 計【ウ】	施設管理運営経費計		31,149	[a]～[g]	

※金額は、消費税及び地方消費税（10%）込みの額を記載してください。

※公租公課欄には、仕入税額控除後の消費税及び地方消費税見込額、その他税額を記載してください。

経営方針

1. 地域と積極的に連携して、生き生きとした暮らしや活力ある地域社会の実現を図ります。
2. 利用者や地域のニーズに真摯に対応し、満足度の高いサービスを追求めます。
3. 公共性と公益性を基本とし、公平、コンプライアンス、透明性を確保した施設経営を進めます。
4. 様々な施設間の連携を密にし、サービス向上など相乗効果を発揮した経営を進めます。



あゆみ

- 平成 7年 3月 「青葉区区民利用施設協会」(前身団体)設立
青葉区内の区民利用施設の管理運営開始
- 平成 18年 4月 指定管理者として6指定管理施設の管理運営開始
- 平成 22年 4月 「一般社団法人青葉区区民利用施設協会」設立
前身団体を引継ぎ法人組織として活動するため設立
- 平成 23年 4月 新法人として6指定管理施設と7受託施設の管理運営開始
- 平成 25年 4月 共同事業体指定管理者として青葉区民文化センター・
フィリアホールの管理運営開始
- 平成 26年 2月 「公益社団法人横浜市民施設協会」に法人名変更
- 平成 28年 4月 8指定管理施設、7受託施設、1共同事業体指定
管理施設を管理運営
- 令和元年 5月 荏田コミュニティハウスの管理運営開始
9指定管理施設、7受託施設、1共同事業体指定
管理施設を管理運営



組織概要

組織名称	公益社団法人横浜市民施設協会
所在地	〒225-0011 横浜市青葉区あざみ野 2-9-22-302
連絡先	TEL : 045-482-9572 FAX : 045-482-9573
法人設立	平成 22年 4月
公益認定	平成 26年 2月
代表者	代表理事 松澤孝郎
役職員数	社員 21名 (うち、理事7名、監事3名) 職員 156名 (常勤職員 26名 時給職員 130名)

特色

1. 運営体制

施設運営のノウハウの蓄積があり、接遇・人権・危機管理研修の実施等により、適切な管理運営体制を確立しています。

- 施設毎の緊急時マニュアル
- 非常時用品の備蓄
- オリジナル「接遇ハンドブック」

face to face で、地域密着型のアットホームな人間関係を築いています。スタッフは全員、施設近隣の住民です。

2. 自主事業

地域のニーズを把握して、年齢・性別に偏らず、教養・工芸・音楽・料理・スポーツなど、広範にわたりバランスの良い事業を展開しています。年間事業数約 500 講座 (開催回数 800 回)。

延参加者数 58,000 人。

- *子育て支援講座
- *小中学生対象のわんぱくホリデー講座
- *チャリティーコンサート・バザー・ピンクリボン啓発活動等
社会貢献事業
- *複数館でのコラボ企画 (青葉歴史探訪等)

3. 地区センターの部屋予約

協会独自で開発した部屋予約システム“さ～くるデータ”にご登録いただくことで、当協会指定管理の4地区センターをご利用いただけます。また、ご予約には、窓口・電話のほかWebもご利用いただけます。



日頃から、当協会が運営する地区センター・コミュニティハウス等をご利用いただき、誠にありがとうございます。

私たちは、「公の施設」の管理運営を通じて、地域の皆様が、気軽に趣味やスポーツ、学習などのサークル活動により、生き生きとした潤いのある時間を過ごしていただくことで、「健康で活力のある暮らしづくり」、「ふれあいのある快適な地域コミュニティの醸成」のお手伝いをするのが使命であると考えています。

地域交流の輪づくりに少しでもお役に立ちたい。今日ここで出会えたことがいい思い出になってほしい。日々そう願って、皆様のお越しをお待ちしております。

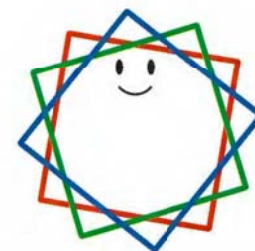
職員一同

公益社団法人 横浜市民施設協会

〒225-0011 横浜市青葉区あざみ野2-9-22-302
TEL:045-482-9572 FAX:045-482-9573



横浜市民施設協会



あつまる・つながる・笑顔になる

